

令和2年度 第41回岩手県中学校新人大会 柔道競技 開催要項

- 1 主催 岩手県中学校体育連盟 岩手県教育委員会 岩手県柔道連盟
宮古市教育委員会 山田町教育委員会
- 2 後援 岩手県 宮古市 山田町 (一財) 宮古市体育協会
- 3 主管 宮古地区中学校体育連盟 岩手県中学校体育連盟柔道専門部
宮古市柔道協会 山田町柔道協会
- 4 期日 令和2年11月14日(土)
8:30 開館
8:30 ~ 9:30 団体受付『宮古市総合体育館 2階入口』
10:00 ~ 12:00 競技会【団体試合】
10:00 ~ 12:00 個人受付『宮古市総合体育館 2階入口』
11:00 ~ 12:00 非公式計量(個人試合出場者)
12:00 ~ 12:30 公式計量(個人試合出場者)
13:15 ~ 16:15 競技会【個人試合】
16:15 ~ 16:45 会場撤去
- 5 会場 宮古市総合体育館(シーアリーナ)
〒027-0038 宮古市小山田2丁目1-1 TEL 0193-62-6000
- 6 競技種目 (1) 団体試合〔男子・女子〕
(2) 個人試合
〔男子〕 50 kg級(50 kg以下) 55 kg級(50 kg超 55 kg以下)
60 kg級(55 kg超 60 kg以下) 66 kg級(60 kg超 66 kg以下)
73 kg級(66 kg超 73 kg以下) 81 kg級(73 kg超 81 kg以下)
90 kg級(81 kg超 90 kg以下) 90 kg超級(90 kg超)
〔女子〕 40 kg級(40 kg以下) 44 kg級(40 kg超 44 kg以下)
48 kg級(44 kg超 48 kg以下) 52 kg級(48 kg超 52 kg以下)
57 kg級(52 kg超 57 kg以下) 63 kg級(57 kg超 63 kg以下)
70 kg級(63 kg超 70 kg以下) 70 kg超級(70 kg超)
- 7 参加資格 (1) 参加者は各地区中体連の加盟校に在学し、学校教育法第1条に基づく当該中学校生徒であること。
(2) 各地区中体連新人大会において、県大会の参加資格を得たチーム及び個人であること。
(3) 参加生徒の引率は当該校の校長・教員・部活動指導員とする。監督は、当該校の校長・教職員・部活動指導員※1とする。コーチは、当該校の教職員か、校長が許可を与えた者(県中体連柔道専門部に登録した1校1名)に限る。「学校教職員外コーチ任命承認願」を参加申し込み時に必ず提出すること。ただし、個人試合においては、学校事情等を校長がやむを得ないと判断し、当該市町村教育委員会又は設置者が同意した場合に限り、「県中総体、県中新人大会引率・監督細則」により、校長及び教育委員会又は設置者が同意した代理引率・代理監督を特例として認める。なお、部活動指導員は、他校の代理引率者及び代理監督にはなれない。

※1 ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。以下同じ。

(4) 岩手県中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者（コーチ）、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

(5) 個人情報の取り扱い

岩手県中体連は、取得する個人情報について適正に取り扱う。参加者は、大会運営上必要なプログラム・ホームページ・報道発表・記録集等への氏名・所属校・学年及び競技ごとの必要事項等の記載について同意することを原則とする。

(6) 個人情報の利用目的

大会参加者の氏名・所属校・学年・及び競技必要事項等については、大会運営に必要なプログラム・掲示板・ホームページ・報道発表・記録集等へ掲載するために利用、活用する。

8 参加人員

(1) 男女団体試合は、各地区より1チームを選出する。

(2) 団体試合のチームは、1校単位で編成したチームとし、男女とも各校1チームの参加とする。

(3) 男子チームの人員は、監督1名、コーチ1名、選手7名以内、女子チームの人員は、監督1名、コーチ1名、選手5名以内とする。チーム編成は、最も体重の重いものを大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合も同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。

(4) 男女個人試合は、各地区より各階級1名を選出する。

9 競技規則

(1) 国際柔道連盟試合審判規定（2018-2020）、国内における「少年大会特別規定」及び「本大会申し合わせ事項」による。

(2) 試合時間は団体試合、個人試合ともに3分間とする。

(3) 勝敗の判定基準は、次の通りとする。

① 団体試合の個々の試合においては、「一本」「技あり」「僅差（「指導」差2）」とし、それに満たない場合は「引き分け」とする。チーム間の内容が同等の場合は、任意の選手による代表戦を行う。代表戦における勝敗の決定方法は個人試合と同様とする。

② 個人試合においては、「一本」「技あり」「僅差（「指導」差2）」とする。規定の試合時間が終了した時点で、スコアに差がない場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。

(4) 団体試合、個人試合ともにトーナメント方式で行う。

(5) 「試合場におけるコーチの振る舞いについて」並びに「脳振盪対応について」を適用する。

10 組合せ抽選

(1) 抽選会を10月2日（金）13時から盛岡市立大宮中学校で行い、岩手県中体連柔道専門部が責任抽選する。

(2) 過去の試合成績等は考慮しない。フリー抽選とする。

- 11 表 彰 (1) 団体試合は、第1位～第3位までの上位4チームを表彰する。優勝チームには、優勝旗を授与する。
(2) 個人試合は、各階級の第1位～第3位までの上位4名を表彰する。
- 12 参 加 料 選手1名につき1,000円(団体、個人重複選手は1名分)とし、大会当日に受付で納入すること。
- 13 参加申込 「参加申込書」及び必要に応じて「学校教職員外コーチ任命承認願」を各1部、9月25日(金)までに各地区専門委員長に提出すること。
- 14 諸 会 議 (1) 岩手県中学校体育連盟柔道専門部会 8:00～8:30 『幼児高齢者室』
(2) 監督会議 文書等による事前の連絡を以てこれに代える。
(3) 審判会議 9:30～9:50 『多目的体育室』
- 15 そ の 他 (1) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策については、別掲「岩手県中学校体育連盟主催大会開催に係る新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」に則る。
(2) 計量は、男子『多目的体育室』、女子『幼児高齢者室』で行う。
① 公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。
② 団体試合においては、当日計量は行わない。各地区委員長は、地区代表チームの各選手について、所定の様式により地区大会時の体重を県専門部に報告し、これを以て公式計量に代える。
③ 個人試合においては、公式計量の前に非公式計量(仮計量)を行うことを認める。
④ 非公式計量では、指定時間内に自由に体重を測定することができる。
⑤ 個人試合の公式計量
ア 定められた階級の体重区分内にない者は失格とし、失格確認書にて通知する。
イ 監督は計量会場に入ることができない。
ウ 服装は、男子は下穿きのみ、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。下着の着用は認めるが、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
エ 別室計量が必要な者は、あらかじめ申し出ること。
(3) 柔道衣点検は、試合出場(点呼)時に当該試合場の担当審判員が行う。
① (公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿き、帯)を着用すること。
② 柔道衣に必ずゼッケン(学校名・名字入り)を縫い付けて出場すること。
ア 布地は白(晒・太綾)とする。
イ サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。
ウ 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
エ 書体は太字ゴシック体とする(明朝体又は楷書体も可)。文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
オ 縫い付け場所は、後ろ襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
③ 試合で着用する柔道衣は、試合前の柔道衣点検で合格したものであること。破損などのやむを得ぬ理由で別の柔道衣を着用する場

合は、当該試合場の審判員に申告し、柔道衣点検を受けなければならない。

- ④ 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又はレオタードを着用すること。Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規定に準ずる。
 - ⑤ (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
 - ⑥ 柔道衣点検は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
 - ⑦ 胸マーキング等について、道場名等は不可とする。
- (4) 練習会場、開放時間は、
- | | | |
|----------|------------|-------------|
| ○メインアリーナ | 団体試合出場者 | 8:40～ 9:45 |
| | 個人試合出場者 | 12:15～13:00 |
| ○多目的体育室 | 団体・個人試合出場者 | 8:40～ 9:20 |
| | | 10:00～16:00 |
- (5) 監督は、指定時間内に『宮古市総合体育館 2階入口』で受付をすること。
- (6) 監督・コーチは、審判員に準じた服装をすること。
- (7) 団体試合のオーダー変更や計量による位置変更があった場合は「選手変更届」を監督が記入の上、選手変更係に提出すること。また、個人試合の選手棄権や計量による失格があった場合は「棄権届」を同様に提出すること。
- (8) 参加申込書提出後、病気、負傷等で選手変更を必要とする場合、団体試合においては受付時間終了までに当該校の校長から書面(様式自由、変更の理由・公印必要)にて県専門委員長に申し出ること。受付時間後は、登録選手の交代のみとする。健康上の理由等で監督・コーチの変更が必要とされる場合も同様とする。個人試合においては、選手変更の一切を認めない。
- (9) 選手の試合による負傷については、会場での応急処置のみ主催者側で行う。大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。
- (10) 安全面に配慮し、柔道修業年数6ヶ月未満の生徒は出場しないことが望ましい。
- (11) 皮膚真菌症(トングランス感染症)の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。
- (12) 観戦者における競技会場内、または応援席や駐車場等、会場周辺の事故破損等については、大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。※「会場周辺の事故」には、競技中のボール等の用具が車や人に直撃した場合や、風や雪、雷等、天候の影響で起こった場合も含む。
- (13) 団体試合の第1位及び第2位のチームと個人試合各階級の第1位及び第2位の選手が所属する地区に来年度県中総体のシード権を与える。なお、男子団体試合のシード地区は、来年度県中総体参加枠に1チームを追加できる。男子個人試合のシード地区は、同様に1名を追加できる。